Institute of
SCIENCE TOKYO

東京科学大学医学部
保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Institute of Science Tokyo

看護学専攻
Track of Nursing Science

検査技術学専攻
Track of Medical Technology

発行：2025年7月31日

東京科学大学 医学部 保健衛生学科
〒113-8510　東京都文京区湯島 1-5-45
ホームページ　https://www.isct.ac.jp/
教育推進部 教務課 湯島教務室
保健衛生教務グループ　TEL：03-5803-5119

※2024年10月国立大学法人東京科学大学設立

Institute of
SCIENCE TOKYO

科学の進歩と、人々の幸せと。

Institute of SCIENCE TOKYO

東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し
2024年10月1日 Science Tokyo 東京科学大学が誕生しました

保健医療チームの看護師・保健師・臨床検査技師としてのエキスパートを目指す教育体制

本学科は、看護学、検査技術学の 2 つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、
豊かな教養と高い倫理観に裏付けされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、
自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

あゆみ

学科の創立は1989年で、国立大学で初めての4年制の保健衛生学科として誕生しました。
大学院は1993年４月に博士（前期）課程、1995年４月に博士（後期）課程が設置され、国際的に通用する本格的な教育者・研究者及び高度な専門職業人の養成を行っています。なお、2001年度から大学院は部局化（重点化）され、保健衛生学科の教育研究組織は新しい大学院大学（保健衛生学研究科）に移行しました。部局化（重点化）された大学院と学部との有機的な連携のもとに、大学院の教員が保健衛生学科の教育を行っています。21世紀を迎え2004年４月には医歯学総合研究棟（現、３号館）が完成し、本学科も新棟に移転し、教育研究体制も益々充実してきました。そして、2014年４月より、総合保健看護学専攻は５年一貫制博士課程「看護先進科学専攻」へと改組しました。また同じく2014年４月より、国内初である国公私立の共同教育課程である５年一貫制博士課程「共同災害看護学専攻」を設置しました。2018年４月には検査系が大学院医歯学総合研究科に編入され、「生体検査科学講座」となりました。そしてこの度、2024年10月より東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し、Science Tokyo 東京科学大学が誕生いたしました。

1989年４月	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科（看護学専攻・検査技術学専攻）設置
1991年３月	医学部附属看護学校及び医学部附属臨床検査技師学校の閉校
1993年４月	東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻（修士課程）設置 （募集定員：看護学領域14名、検査学領域10名）
1995年4月	東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻博士（後期）課程設置 （募集定員：看護学領域５名、検査学領域４名）
2001年４月	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科２専攻設置　総合保健看護学専攻、生体検査科学専攻 （博士（前期）課程募集定員：総合保健看護学専攻17名、生体検査科学専攻12名） （博士（後期）課程募集定員：総合保健看護学専攻８名、生体検査科学専攻６名）
2014年４月	大学院保健衛生学研究科 総合保健看護学専攻を看護先進科学専攻に改組 大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻を設置 （5年一貫制博士課程募集定員：看護先進科学専攻13名、共同災害看護学専攻２名）
2018年4月	大学院保健衛生学研究科　生体検査科学専攻を大学院医歯学総合研究科医歯理工保健学専攻（修士課程）及び生命理工医療科学専攻（博士（後期）課程）に改組 （医歯理工保健学専攻（修士課程）募集定員：107名、生命理工医療科学専攻（博士（後期）課程）募集定員：25名）
2021年4月	大学院保健衛生学研究科　共同災害看護学専攻の募集停止に伴い、５大学災害看護コンソーシアムを設立し、災害看護グローバルリーダー養成を継承
2024年10月	国立大学法人東京科学大学　設立

学部募集人員

※１の募集定員は、特別選抜Ⅰ（推薦入試）の募集人員の内数とする。
※２の募集定員は、一般入試（前期日程）の募集人員の内数とする。

			看護学専攻	検査技術学専攻
修業年限			4	4
募集人員			55	35
内訳	一般入試	前期日程	35	20
		後期日程	—	7
	特別選抜Ⅰ	（推薦入試）	20	8
		（国際バカロレア入試）※1	若干名	若干名
	特別選抜Ⅱ	（帰国生入試）※2	—	若干名

海外研修・留学支援

豊かな感性と国際性を兼ね備えた医療人育成の一環として、海外研修奨励制度の活用やその他の留学支援などにより、学生に海外研修の機会を提供しています。看護学専攻では、オーストラリア、台湾、タイの大学や病院で海外研修を実施しています。海外研修では、看護学部の講義に参加したり、病院での看護実習（シャドーイング）をすることができ、留学さながらの体験をすることができます。医療制度や健康課題の異なる国々で看護を学び、実践する体験を通して、グローバルな視点で人々の生活や健康を理解する力を養うことができます。検査技術学専攻では海外交流協定校であるチュラロンコーン大学（タイ）および台北医学大学（台湾）と学部学生・大学院生の充実した派遣・受入を行っています。また、ラオス、ガーナなどの後発開発途上国における医療、看護、臨床検査の短期研修も行っています。

ラオス保健科学大学での医療技術支援活動に参加した様子

専門分野の第一線で活躍する教員による指導

大学院 保健衛生学研究科 看護先進科学専攻

講座	教育研究分野	
	ヘルスサービスリサーチ看護学	教　授　柏木　聖代
	公衆衛生看護学	教　授　月野木　ルミ
	成人看護学	教　授　田中　真琴
	精神保健看護学	教　授　谷口　麻希
	小児・家族発達看護学	教　授　佐藤　伊織
	リプロダクティブヘルス看護学	教　授　松﨑　政代
	在宅・緩和ケア看護学	教　授　福井　小紀子
	国際看護開発学	教　授　近藤　暁子
	看護管理・高齢社会看護学	教　授　緒方　泰子
	災害・クリティカルケア看護学	教　授　佐々木　吉子

大学院 医歯学総合研究科 生命理工医療科学専攻

講座	教育研究分野	
生体検査科学	形態情報解析学	教　授　星　治 准教授　副島　友莉恵
	血液・生体システム解析学	教　授　（選任中） 准教授　西尾　美和子
	臨床分析・分子生物学	教　授　大川　龍之介 准教授　鈴木　喜晴
	生命情報応用学	教　授　角　勇樹 准教授　赤座　実穂
	微生物・感染免疫解析学	教　授　齋藤　良一 准教授　田中　ゆきえ
	疾患生理機能解析学	教　授　柿沼　晴 准教授　松沢　優

看護学専攻の特徴

病院・施設・地域等の看護活動を包括的視野で捉え高度化と多様化する保健・医療・福祉の領域において学際的・国際的視野をもって様々な職種と連携・協働し、チームの中で看護の専門的役割を果たすと共に、看護学の発展に寄与する能力のある人材を養成することにあります。

検査技術学専攻の特徴

先端医療技術の進展に対応できる学際的視野と研究能力を備え、医学・保健医療における検査技術の発展に寄与し、新たな世代の指導にあたる臨床指導者・教育者・研究者として能力ある人材を養成することにあります。

教育内容

1年次の前期を中心に開講される全学科共通科目の履修を経て、看護学専攻あるいは検査技術学専攻専門科目を履修します。
看護学専攻では、専門基礎分野の科目、基礎看護学や臨床看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学などの専門領域別分野の科目、卒業論文などの専門共通分野の科目を履修します。講義、演習、臨地実習を通して学ぶことにより、看護職に必要な専門知識と技術、看護実践能力を身に付けます。看護学専攻卒業者は、学士の学位の他に、看護師国家試験受験資格を取得することができます。また、選択制により保健師国家試験受験資格を取得することができます。保健師免許取得者は、必要な単位を修得することで養護教諭普通免許（2種）も申請できます。このほか、国際的な研究や実践を担う力を高めるため、全学的な取り組みと同時に、各学年で外国語の授業を履修できます。さらに、大学院の教育科目の先取り履修制度によって学部生のうちから大学院の単位を修得することができます。
検査技術学専攻では、1年次後期より専門科目を学び始め、2年次には基礎医学・検査学、3年次には臨床医学・検査学、臨地実習、4年次には卒業研究、総合講義などを学びます。その他にも多彩な選択科目があり、現代医療における臨床検査の役割を理解し、専門的知識と科学的思考能力を身に付けます。3～4年次には病院での臨地実習に続いて、各研究分野での卒業研究、研究発表や論文作成を通じて学問的探究心を養います。検査技術学専攻卒業者は、学士の学位の他に、臨床検査技師国家試験受験資格を取得することができます。

卒業すると取得できる学位・資格

看護学専攻
学位：学士（看護学）
資格：看護師国家試験受験資格
保健師国家試験受験資格（※選択制）
［保健師免許取得者：養護教諭免許（二種）］

検査技術学専攻
学位：学士（保健学）
資格：臨床検査技師国家試験受験資格

教養教育・専門教育の連携

1年次は国府台のキャンパス（千葉県市川市）で医学科、歯学科、及び口腔保健学科の学生と共に学び、将来、チーム医療に携わることを自覚します。また1年次前期4-5月は、大岡山キャンパスに週1日通い、理工系の学生とも共に学びます。専門分野や進路が異なる学生同士が様々なテーマについて対話を重ねることで、お互いを尊重しながら多様性への理解を深めます。1年次後期より専門教育が本格的にスタートし、週3日ほど湯島地区にて専門科目を学びますが、それと並行しながら持続的に教養科目も学びます。2年次以降は湯島地区で学び、看護学専攻・検査技術学専攻2年生は水曜日午後に教養セミナーⅠを、看護学専攻4年生・検査技術学専攻3年生は火曜日午後に教養セミナーⅡを、学科混成で履修します。

カリキュラムの基本方針

近年、AIなどのテクノロジーの急激な発達、グローバル化、未知の感染症のパンデミック等により、「答えのない難問」が加速度的に増加しております。自分の志した専門領域を究めることは大切な事ですが、狭い範囲の価値観にだけに縛られては、このような実社会の中の「答えのない難問」を解決できません。これらの難問解決のためには、幅広い知識を持ち、さまざまな角度から物事を考えられる柔軟で自由な思考が必要となります。本学では教えられたことを暗記するだけの学びからモード転換し、自らが主体的に学び、「答えのない難問」に対応できるだけの素質を磨く教養教育を実践しております。

教養科目

1年次（前期週5日、後期週2日）
人文社会科学系科目、自然系基礎科目、語学（英語、第二外国語）、他
担当：国府台地区教員、大岡山地区教員　実施場所：国府台地区、大岡山地区

2年次以降（月1日）
教養セミナーⅠ・Ⅱ
担当：国府台地区教員　実施場所：湯島地区

学部専門科目

解剖学・基盤看護学、他
担当：湯島地区教員　実施場所：湯島地区

①2学期制（前期／後期）
②人文社会科学・国際文化教育の充実
③専攻の特徴に応じた自然科学教育
④英語教育の充実（レベル別クラスの設定）
⑤学生の興味に応じた多様な選択科目の充実
⑥学科・専攻横断型アクティブ・ラーニング

科目概要（2025年度開講科目）

人文社会科学・第二外国語・ウェルビーイング科目

●人文社会科学および国際文化に関する必修の入門科目と、選択制の高い科目群の中から科目を選択し学びます。
人文社会科学概論Ⅰ･Ⅱ、国際地域文化入門、選択科目群（人文社会科学科目、第二外国語（ドイツ語、スペイン語、フランス語、中国語）、フィジカルウェルビーイング）

自然科学系科目

●専攻の特徴に応じて、専門課程の基礎となる自然科学系科目を学びます。
看護学専攻：統計学、化学基礎、生物学基礎、科学基礎実験
検査技術学専攻：物理学入門／化学入門／生物学入門（いずれか選択）、数学Ⅰ、物理学Ⅰ・Ⅱ、統計学、化学、生物学、科学基礎実験

英語科目

●英語IA：コミュニケーション、英語IB：リーディング・ライティング、英語IC：選択制

共通領域科目

●必修科目として、幅広い医療人としての素養を養います。
・立志プロジェクト、教養基礎セミナー、教養選択科目、情報科学　＊両専攻とも1年次に履修
・教養セミナーⅠ　＊両専攻とも2年次に履修
・教養セミナーⅡ　＊看護学専攻：4年次、検査技術学専攻：3年次にそれぞれ履修

専攻別カリキュラム

看護学専攻カリキュラム

全学科共通科目		29単位
専門科目	①看護師免許のみ取得する者	103単位
	②看護師及び保健師免許を取得する者	108単位
卒業単位計		①132単位　②137単位

	専門基礎分野		専門共通分野		専門領域別分野	
	必修科目	自由科目	必修科目	自由科目	必修科目	選択科目
1年次	解剖学 生化学 病理学 微生物学 栄養学 アカデミック・リテラシー		AI･データサイエンスのための数学 医療とAI･ビッグデータ入門 国際保健看護学Ⅰ 看護制度論	国際保健福祉A	人間の健康と看護 基盤看護学実習Ⅰ 看護の統合と実践 多職種連携Ⅰ	
2年次	生理学 薬理学Ⅰ 薬理学Ⅱ 病態学	憲法※3 英語Ⅱ※3	医療とAI・ビッグデータ応用 保健医療福祉制度論 健康教育学演習	実践看護英語Ⅰ 国際保健福祉B インディペンデント スタディA	基盤看護学Ⅰ 基盤看護学Ⅱ 基盤看護学演習Ⅰ 基盤看護学演習Ⅱ 基盤看護学実習Ⅱ フィジカルアセスメント 成人の健康と看護 成人看護学 心の健康と看護Ⅰ 心の健康と看護Ⅱ 小児の健康と看護 小児看護学Ⅰ 公衆衛生看護学Ⅰ 在宅看護学Ⅰ 多職種連携Ⅱ 災害看護学	
3年次	疫学 System-based medical terminology Ⅰ	憲法※3 英語Ⅱ※3 IMRAD Format Presentation in English※3	卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ	実践看護英語Ⅱ 国際保健福祉C インディペンデント スタディB	クリティカルケア看護学 成人看護学演習 成人・老年看護学実習Ⅰ 緩和ケア看護学 精神看護学演習 精神看護学実習 小児看護学Ⅱ 小児看護学演習 小児看護学実習 性と生殖と健康と看護 周産看護学Ⅰ 周産看護学Ⅱ 周産看護学演習 周産看護学実習 高齢者の健康と看護 老年看護学 老年看護学演習 成人・老年看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学Ⅱ 在宅看護学Ⅱ 在宅看護学演習 在宅看護学実習	リハビリテーション看護学※2
4年次	Nurse-Patient Communication	憲法※3 英語Ⅱ※3 IMRAD Format Presentation in English※3 Diagnostic Procedures in English	国際保健看護学Ⅱ 産業保健学 卒業論文Ⅱ	実践看護英語Ⅲ 国際保健福祉D インディペンデント スタディC	クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング 看護マネジメント学 看護の統合と実践実習	公衆衛生看護学Ⅲ※1 公衆衛生看護学演習※1 公衆衛生看護学実習※1 成人・老年看護学実習Ⅲ※2 総合看護学実習※2

●保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※１の３科目を選択すること。
●保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※２の３科目を選択すること。
●※3の科目は履修学年が複数年にわたっている科目で、いずれかの学年で履修することができる。
注：掲載のカリキュラムは2025年度以降入学者に適用される予定の内容です。

検査技術学専攻カリキュラム

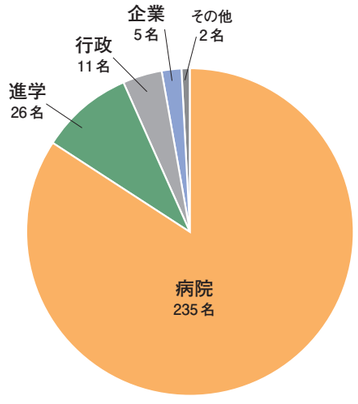
全学科共通科目		34単位
専門科目	必修科目	102.5単位
	選択科目	6単位
卒業単位計		142.5単位

	必修科目	選択科目	自由科目
1年次	人体構造学講義 病理検査学講義（Ⅰ） 生化学講義（Ⅰ） 分析化学検査学Ⅰ 医用システム情報学講義（Ⅰ） 病原体検査学講義（Ⅰ） 臨床検査総合管理学 多職種連携Ⅰ AI・データサイエンスのための数学 医療とAI・ビッグデータ入門 アカデミック・リテラシー		短期海外研修A
2年次	人体構造学実習 病理検査学講義（Ⅱ） 病理検査学実習 血液検査学講義 生化学講義（Ⅱ） 生化学実習 薬理学 分析化学検査学Ⅱ 医用システム情報学実習（Ⅰ） 生理学講義 臨床生理検査学講義（Ⅰ） 生理学実習 臨床生理検査学実習（Ⅰ） 病原体検査学実習（Ⅰ） 免疫検査学講義 遺伝子・染色体検査学講義 医学情報処理演習（Ⅰ） 臨床病態学（Ⅰ） 多職種連携Ⅱ	遺伝学※1 生命理工学概論※1 分子生物学※1 心臓生理学※1 AI実践演習※1 医療とAI・ビッグデータ応用※1 Learning Medical English※1 英語Ⅱ※1	短期海外研修B
3年次	血液検査学実習 分析化学検査学Ⅲ 医用システム情報学講義（Ⅱ） 医用システム情報学実習（Ⅱ） 臨床生理検査学講義（Ⅱ） 臨床生理検査学実習（Ⅱ） 病原体検査学講義（Ⅱ） 病原体検査学実習（Ⅱ） 免疫検査学実習 遺伝子検査学実習 臨地実習 卒業研究（Ⅰ） System-based medical terminology Ⅰ	遺伝学※1 生命理工学概論※1 生体医工学 分子生物学※1 心臓生理学※1 アドバンスド生理機能検査学※1 心電図判読※1 医療とAI・ビッグデータ応用※1 Learning Medical English※1 英語Ⅱ※1	短期海外研修C IMRAD Format Presentation in English※1
4年次	医学情報処理演習（Ⅱ） 公衆衛生学講義 公衆衛生学実習 医療概論・関係法規 臨床病態学（Ⅱ） 多職種連携Ⅲ 総合講義 卒業研究（Ⅱ） Diagnostic Procedures in English	遺伝学※1 分子生物学※1 心臓生理学※1 アドバンスド生理機能検査学※1 心電図判読※1 AI実践演習※1 医療とAI・ビッグデータ応用※1 Learning Medical English※1 英語Ⅱ※1	短期海外研修D IMRAD Format Presentation in English※1

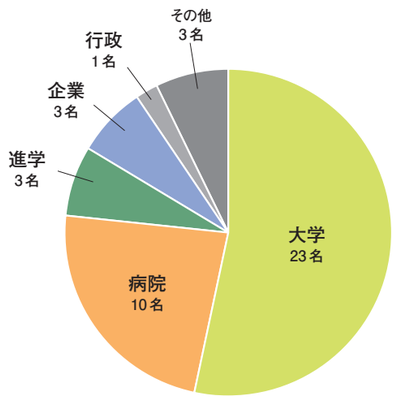
●必修科目に加え選択科目から６単位以上を習得し、４年次にはそのうち２単位以上を修得する。
●選択科目６単位のうち２単位以上は外国語科目を修得しなければならない。
●自由科目は卒業要件には含まれない。
●※１の科目は履修学年が複数年にわたっている科目で、いずれかの学年で履修することができる。
注：掲載のカリキュラムは2025年度以降入学者に適用される予定の内容です。

卒業後の進路

看護学専攻
（過去５年間　2020～2024　279名）



大学院　5年一貫博士課程
（過去５年間　2020～2024　43名）



主な就職先

就　職（看護師）

東京科学大学病院（旧・東京医科歯科大学病院）
東北大学病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
国立がん研究センター中央病院
東京都立小児総合医療センター
山梨県立中央病院
東京北医療センター
三井記念病院
東京医療センター
榊原記念病院
はぴれすと訪問看護ステーション
セントケア千葉株式会社
東京大学医学部附属病院
金沢大学附属病院
国立国際医療研究センター病院
東京都立大塚病院
埼玉県立がんセンター
虎の門病院
さいたま赤十字病院
聖路加国際病院
東大和病院
自衛隊中央病院
sbcメディカルグループホールディング
賛育会病院
熊本大学病院
国立成育医療研究センター
東京都立多摩総合医療センター
神奈川県立こども医療センター
九段坂病院
NTT東日本関東病院
足立東部病院
井之頭病院
戸田中央産院
JICA モンゴル

就　職（保健師）

東京都
文京区
世田谷区
草加市
茨城県
江東区
板橋区
パナソニック健康保険組合
中央区
大田区
武蔵野市

就　職（教員）

東京科学大学（旧・東京医科歯科大学）
中国湖南科技大学
杏林大学
東京慈恵会医科大学
東京工科大学
帝京科学大学
国立看護大学校
日本赤十字看護大学
東京医科大学
東邦大学
城西国際大学
和洋女子大学
東京大学
慶應義塾大学
東京女子医科大学
関東学院大学
駒沢女子大学

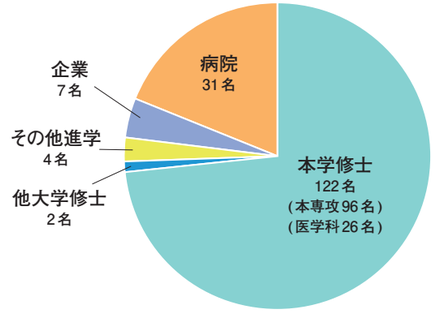
進　学（大学院）

東京科学大学（旧・東京医科歯科大学）
聖路加国際大学
東京大学
日本赤十字看護大学
大阪大学

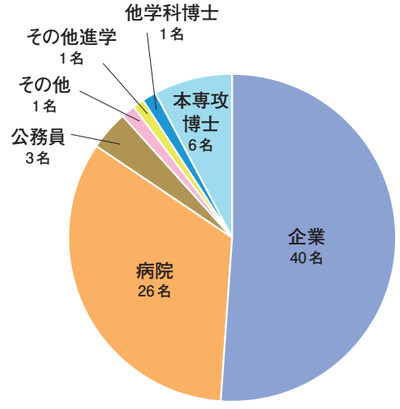
進　学（大学・専門学校等）

東京都立大学助産学専攻科
日本赤十字社助産師学校
EF International Launguage Campuses

検査技術学専攻
（過去５年間　2020～2024　166名）



大学院　修士
（過去５年間　2020～2024　78名）



主な就職先

就　職（臨床検査技師）

東京科学大学病院（旧・東京医科歯科大学病院）
信州大学医学部附属病院
日本大学医学部附属板橋病院
杏林大学医学部付属病院
聖路加国際病院
日本赤十字社医療センター
武蔵野赤十字病院
東京大学医学部附属病院
慶應義塾大学病院
北里大学病院
東京医科大学八王子医療センター
横浜市医療局
がん研究会有明病院
さいたま赤十字病院
横浜市立大学附属病院
順天堂大学医学部附属順天堂医院
北里研究所病院
聖マリアンナ医科大学病院
虎の門病院
山王病院

就　職（企業）

【検査機器・試薬関連】
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
テルモ株式会社
株式会社リコー
株式会社 LSI メディエンス
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
シスメックス株式会社
富士フイルム和光純薬株式会社
株式会社日立ハイテク

【製薬関連】
アステラス製薬株式会社
大鵬薬品工業株式会社
第一三共株式会社
中外製薬株式会社

【治験関連】
イーピーエス株式会社
シミック株式会社

【その他】
株式会社資生堂
日本アイ・ビー・エム株式会社

就　職（官公庁）

環境省
警察庁刑事局犯罪鑑識官
農林水産省
千葉県

進　学（大学院）

東京科学大学（旧・東京医科歯科大学）
東京大学

卒業生紹介

◉看護学専攻卒業生

第13回生 同窓会会長

矢郷 哲志さん

本学
大学院保健衛生学研究科 助教

本学を卒業後、小児専門病院で看護師として勤務し、大学院を経て、現在は母校で教員として小児看護の魅力を学生に伝えています。
こどもとその家族が、病気や障害の有無にかかわらず健やかに育つ社会の実現をめざし、実践に根ざした研究に取り組みながら、国際的に看護を牽引する実践者・研究者の育成に力を注いでいます。

第3回生

野秋 蘭子さん

東京科学大学病院
看護部 副看護部長

本学卒業後、医学部附属病院（現・東京科学大学病院）に就職しました。現在は教育担当副部長として、当院で働く看護スタッフがより能力を発揮して働ける環境を作れるように、部署の管理者や教育キャリア部門と力を合わせながら日々奮闘しています。高度急性期病院として、忙しい現場ではありますが、看護スタッフが日々成長していく姿をみて充実感を覚えながら働いています。

第15回生

石橋 久美子さん

NECフィールディング（株）
人事部 保健師

社員の健康を支援する仕事に携わっています。心身の不調を抱える社員のサポート、治療と仕事の両立支援に留まらず、近年では健康経営が社会的注目を浴び、健康増進や予防領域での活躍を期待されることも増えています。仕事で活躍するために欠かせない健康という側面から社員を支え会社の発展にも貢献でき、日々大きなやりがいを感じています。

第16回生

南谷 真理子さん

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所
ライフ・バリュークリエイションユニット
シニアコンサルタント

本学卒業後、病院勤務や学位取得を経て勤務をしています。医療現場をよりよく変革させるには、臨床業務だけでなく研究成果の社会実装や、医療政策を変える役割も必要との課題意識からこの仕事を選択しました。官公庁の医療政策に関するプロジェクト、医療研究のPJMO（Project Management Office）、民間企業の医療DXの支援等、産官学のプロジェクトに広く関わっています。

第20回生

佐藤 央さん

本学 大学院保健衛生研究科
災害・クリティカルケア看護学分野
大学院生

私は本学で学んだ後、看護師資格を取得し大学病院の救命救急センターで10年以上勤務してきました。ドクターカー看護師やDMAT隊員としても活動し、救急看護認定看護師を取得しました。現在は救急外来で働きながら、大学院博士課程に進学し、臨床と研究の二刀流に挑戦しています。

第22回生

小林 桃子さん

フィンランド
セントラルホスピタル 看護師

本学在学中に得た3週間の研修をきっかけにフィンランドに魅了され、学部卒業後に改めて留学し、EUのRN資格を取得しました。現在はフィンランドのセントラルホスピタル、脳外科集中リハビリ病棟で働いています。これからも看護師としての経験を重ね、将来両国の看護の橋渡しになれたら良いなと思っています。

◉検査技術学専攻卒業生

第5回生

齋藤 良一さん

本学
大学院医歯学総合研究科 教授

学部卒業後、東京大学医学部附属病院で臨床検査業務に約12年従事し、国立感染症研究所の研究員を経て母校に教員として戻りました。現在は本学ガーナ感染症研究拠点を軸に国内外で細菌の環境適応やゲノム疫学等に関する研究を推進しつつ、国際的視点から教育研究活動を展開できる人材の育成に取組んでいます。

第12回生

市村 直也さん

東京科学大学病院
検査部 技師長

大学卒業後、2004年に本学附属病院に入職し、2019年より臨床検査技師長を務めさせていただいています。この間に細菌のもつ脂質の構造と、その脂質とHDLの相互作用の研究により博士号を取得しました。現在は、正確な検査結果を迅速かつ安定して医療者や患者さんに届けられるように検査室のマネジメントを行っています。

第17回生

荻澤（佐藤）恵美子さん

東京大学
医学部附属病院 検査部

学部卒業後、3年間の病院勤務を経て本学大学院に進学し、博士号を取得しました。現在は再び臨床検査技師として病院検査部で働いています。日常業務では、異常データや希少な症例などに遭遇することもあります。疑問に思ったことを調べ、時には臨床医と連携しながら、大学院で身につけた研究構築能力を活かして、学会発表や論文報告をしています。

第25回生

上野（菊池）みなみさん

国立感染症研究所

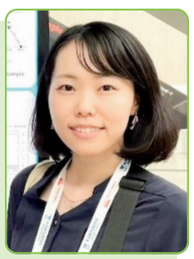
学部卒業後大学院に進学し、アメリカ疾病管理予防センター（CDC）への留学、国立感染症研究所での研究生としての学修、研究により博士号を取得しました。現在は国立感染症研究所に勤務し、ウイルス検査、行政・疫学研究を学びながら進めています。検査を通して国内外の感染症対策の一助となれる人材を目指しています。

第27回生

長谷川 瑛美さん

農林水産省

大学院卒業後に農林水産省に入り、現在は食品中の有害化学物質・有害微生物の実態調査やそれらを減らすための研究事業、事業者等への手引きの作成などに携わっています。学生時代に培った化学・微生物学・生理学といった幅広い知識を活かし、臨床検査技師とは異なる立場から消費者の健康を守る仕事が出来、とても自分に合った職業だと感じています。



第29回生

川口 莉奈さん

本学 大学院医歯学総合研究科
大学院生（博士課程）

学部卒業後大学院に進学し、現在博士課程にて研究を進めています。国内外問わず、多くの学会発表の機会を頂き、最先端の医療技術にふれながら、自身の研究をアップデートできるよう心掛けています。資金援助を受けており、研究に専念できる環境を頂いているため、臨床検査学の更なる発展に貢献できるよう“研究の楽しさ”を忘れず、日々研究に励んでいます。